

表16 職員研修の参加状況(平成26年度)

区分	内容	参加者数
一般研修	管内町村会主催の一般職員、監督者研修など	14人
特別研修	自治大学校、北海道自治政策研修センター、市町村職員中央研修所などの主催研修など	3人
指定研修	道外研修及び他団体主催の講演、接遇研修など	6人
単独研修	町主催の職員研修など	0人
計		23人

### 職員の福祉及び利益の保護について

#### ■共済制度の概要

共済制度は、職員と家族の生活の安定と福祉の向上のため地方公務員等共済組合法に基づき、北海道市町村職員共済組合が実施主体となり次の事業を実施しています。

- ①短期給付事業 病気やけが、出産、死亡、休業、災害等への給付
- ②長期給付 退職後の年金等の給付
- ③福祉事業 保健、貯金、貸付、物資購入事業など

#### ■職員厚生事業

職員の福利厚生事業については、置戸町役場職員互助会に委任し、実施しています。本年度交付金の額は30万円で職員一人当たり約2,500円の交付となっています。

#### 特別職などの給料

町長、副町長、教育長の給料は表17のとおりです。

表17 特別職の給料

区分	月額 (削減前)	期末手当		
		6月	12月	計
町長	700,000円 (875,000円)	1.95ヶ月	2.10ヶ月	4.05ヶ月
副町長	590,000円 (690,000円)	1.95ヶ月	2.10ヶ月	4.05ヶ月
教育長	545,000円 (600,000円)	1.95ヶ月	2.10ヶ月	4.05ヶ月

平成28年6月まで特別職の給料月額を20%～10%削減し、さらに期末手当の役職加算を停止しています。

## 「スクールバス」と「へき地患者輸送車」の一般乗車をおこないます

町では、スクールバスと町内医療機関への通院用として高齢者の方を対象に週1回から2回へき地患者輸送車を運行しています。このほか、北見バスは3路線(置戸線・勝山線・陸別線)でバスを運行していますが、買い物などの日常生活においては、自家用車が主な移動手段となってきました。しかし、最近では高齢などの理由から自家用車の運転が難しく、町内における新たな交通手段の要望が寄せられています。このため、今後の地域内の公共交通のあり方について検討するため、10月5日から概ね65歳以上の方を対象に、「スクールバス」と「へき地患者輸送車」の一般乗車を試験的にスタートします。なお、利用目的は問いません。

#### ■スクールバス

##### 置戸市街へ(行き)

乗車場所：スクールバス停留所  
 時間：地域によって異なります  
 (到着時間は午前8時頃)  
 降車場所：コミュニティホールぼっぼ

##### 置戸市街から(帰り)

乗車場所：コミュニティホールぼっぼ  
 時間：①午後2時55分 ②午後3時55分  
 降車場所：運行路線上

#### ■へき地患者輸送車

##### 置戸市街へ(行き)

乗車場所：運行路線上  
 時間：地域によって異なります  
 降車場所：コミュニティホールぼっぼ・置戸赤十字病院

##### 置戸市街から(帰り)

乗車場所：コミュニティホールぼっぼ  
 時間：地域によって異なります  
 降車場所：運行路線上

※運行時間や停留場所につきましては、別途自治会回覧でお知らせいたします。(対象地域のみ)  
 お問い合わせ 町づくり企画課企画係 ☎52-3312